

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

# 能ヶ谷西緑地だより

2022年 10月 1 日号 272 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【10月の予定】

◆10月8日（土）（雨天翌日）

- ・花広場 草刈り
- ・竹林 整備

◆10月22日（土）（雨天翌日）

- ・花広場 草刈り
- ・竹林 整備

\* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆やままゆ連・手作りカフェーは中止です。

問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。



## 【緑地に咲く】キツネノマゴ（狐の孫）



キツネノマゴ科の一年草。

野原や道端に生え花の穂は茎の先につきます。名前の由来は花穂を孫狐のしっぽに見立てたとか、花が孫狐の顔に似ているとか、諸説あります。

乾燥させると腰痛、風邪などに薬効があるとされています。

（長谷部）

※※※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※※※

9月25日（日） 晴 参加者 8名

9月10日（土） 晴 参加者 9名

今日の作業は花広場の整備、主に草刈りでした。草刈り機2台がフル稼働し、花広場のほか東の入り口付近も刈りました。

Uさん、Kさんは、北側や南側の入り口近辺の草刈りや落ち葉の片付けに汗だくで頑張っていました。普段散歩道にされている方からも、喜んでいただけたと思います。また花広場に、Kさんが頂いた芍薬（しゃくやく）の種もまきました。種は小さな濃い茶色で、表面がつるんとしていて大豆のようでした。花が咲くのは2～3年後、うすいピンクの花が咲くそうです。それよりまずかわいい芽が出てくれますように・・・

花広場も夏草でおおわれていた箇所が片付いてさっぱりしました。

作業の途中に、鶴二小のボランティアの方が取材に来られました。小学生が自然と触れ合う企画を検討されているようで、緑の自然に親しんでくれる子ども達が増えるといいですね。

（森田）

昨日は台風の影響で雨天だったため、作業は今日にずれ込んだ。

台風により緑地の全域に散乱する落下枝を手分けして集める作業は、雨で地面が滑りやすく、注意していても足をとられる。風雨で詰まった排水溝の泥土や枯葉を浚う作業も、水分を含んで重くなり骨が折れる。

竹林では風で倒れた竹が数本、近隣住民にご迷惑をお掛けし、内心謝りながら伐採し、中央広場に運んだ。中央広場では刈払い機がうなりを上げるが、長く伸びたクズが邪魔する。

9月14日に、中央広場入り口で体長50cmほどのマムシが居り、今日の作業帰りには下の緑地入り口付近で体長20cm、太さは鉛筆ほどの黄銅色の小へびが遊んでいた。皆様、落枝とへびにはくれぐれもお気をつけ下さい。

（かつた）



ドングリがいっぱい！

【やまゆ連・手作りカフェー】

手仕事

9月3日（土） 平和台集会所

今回は人数が少なかったので各自思い思いの手仕事をもって参加しました。

クラフトテープで六つ目かご編み、手拭きの詩集飾りなど・・・

Fさんは織物をやってみたいとのこと。やまゆ連はだいぶ以前に機織り機（地機）を作りましたので、それで作ることに。

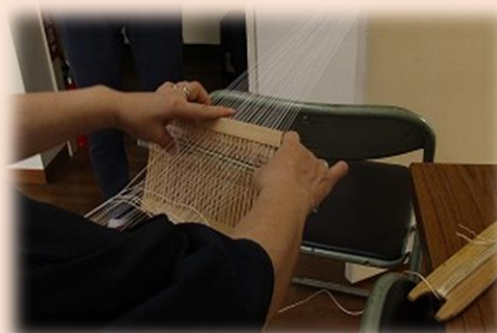
まず、経糸を通します、これがなかなか難しい。緯糸は最初はカラムシを使いたかったのですが、初めての作品としては難しすぎるので毛糸でやることにしました。

簡易機織りでの折りはなかなか難しいのですが、実際にやってみると織物の原理がよくわかります。

次回、どんな作品ができているか、楽しみです。（小川）



経糸を通します



織りはじめました

【緑地の樹】

ハギ（萩）

プロフィール: マメ科ハギ属の落葉低木

ハギ属の総称で6月から9月にかけて淡紅紫色や白色の蝶形の花を枝に沢山つける。

最もよく見られるのは宮城野萩で花期には地に着くほど枝がしだれる。西緑地にも花広場南東角に見られる。花の繊細さに似合わず生育力は旺盛でマメ科の特徴の根粒菌との共生によりやせた土地でもよく育つ。

枝や葉は家畜の飼料や屋根をふく材料に、また根を煎じてめまいやのぼせの薬とするなど、昔から親しまれていて万葉集にもよく歌われ、秋の七草に数えられている。（宇野）



## ナラ枯れ報告そのⅣ

竹林へ向かう小道の右側斜面の上には、ナラ枯れ病で完全に枯れた大木の枝がドスンと落下している。枝とは言っても太さは20cm以上あり、それを中央広場に運ぶにも、台風一過のぬかるんでいる坂なので、往生してしまう。

今春、ナラ枯れ病対策で太い樹に巻いたラップを剥がした。ラップが巻かれていたところの表皮はベショベショに濡れ、シロアリや巨大なヤマナメクジ、ムカデやミミズ、5mmほどの巻貝や名も知らない様々な虫がうごめき、シダやキノコがびっしり生え、おまけにカシノナガキクイムシの糞と木屑が一緒になった「フラス」が飛び散る有様で、見るも無惨。樹にとってはありがたい迷惑な対策だったのかもしれない。

ナラ枯れ病対策は来年も継続する必要が予想されるため、他の方法を採用するか、やり方を変える事を検討しなければならない。

ビニールを剥がされた木たちから一斉に「あ～！ やっと息ができる～！」という声が聞こえたような気がしたのは私だけかしら？！

(かつた)



ラップの下にいた虫や苔など。  
右側上 : ヤマナメクジ、ミミズ  
右側中 : ハコネゴケ  
右側下 : シロアリ  
左側 : ムカデ

- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しんでください。
- ◆ 「緑地だより」編集：小川 TEL/FAX：796-1801 (ご意見がありましたら小川までお寄せください)

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP (毎月末に更新)  
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>  
配信希望の方は、小川まで(ogamariko@gmail.com)





